

まちづくり交付金 事後評価シート  
杉並西北地区

平成20年12月

東京都杉並区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	杉並区		地区名	杉並西北地区			面積	615ha		
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	517百万円	国費率	0.393				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(遊歩道の路面改修、カラー舗装)、高質空間形成施設(サインシステム・モニュメント設置、商店街カラー舗装、緑化整備)、既存建造物活用事業(アニメ資料館整備)										
		提案事業	地域創造支援事業(アニメ関連資料の収集・展示、PRパンフレット作成、散歩みちルート内樹名板設置、花壇材料支給、イベント実施)										
	事業名												
	削除/追加の理由												
	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響												
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし											
新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	商店街のイメージアンケート調査結果	%	37.5	H15	20	H21		9.2		あり	カラー舗装の整備により歩きにくさが解消され、イメージアップにつながった。	
	指標2	アニメ資料館利用者数	人	5,246	H15	15,000	H20		52,962		あり なし	アニメ資料館の整備及びアニメ関連資料の充実により、利用者数が大きく増えた。	平成21年5月
	指標3	散歩みち利用者の満足率	%	約50	H16	70	H20		83.3		あり なし	カラー舗装や段差解消などの整備や花壇の整備等により、利用者の満足率が向上した。	
	指標4	散歩みちの利用者数	人	694	H16	850	H20		862		あり なし	カラー舗装や段差解消などの整備や花壇の整備等により、利用者が増加した。	
指標5	地域コミュニティの形成	団体数等	1	H15	3-4	H21		6		あり なし	ピオトープや花壇の整備で、住民と協働が進められる場所ができた。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度 <sup>1)</sup>	達成見込み				
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	#REF!												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・散歩みちルート内及び西荻窪駅南口における花壇の草花の育成活動 ・西荻窪駅周辺道路のカラー舗装の色彩・パターンの選定		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・杉並区まちづくり条例の改正時に、散歩みちのみどりの育成などテーマ型のまちづくり活動の活性化を図る観点から条例に基づく制度の検討を行う。 ・カラー舗装の維持管理などについて、地元との協働方を検討する。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

杉並西北地区(東京都杉並区) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域の貴重な5つの資源(人、アート、アニメ、みどり、科学)をつないで、誰もが楽しく周遊できる「五つ星のまち」をつくり、住民相互が協力、交流することにより、地域活性化と都市再生を図る。		商店街イメージアンケート調査結果	単位: %	37.5	H15	20	H21	9.2	H20
		アニメ資料館利用者数	単位: 人	5,246	H15	15,000	H20	52.962	H20
		散歩みち利用者の満足率	単位: %	約50	H16	70	H20	83.3	H20
		散歩みちの利用者数	単位: 人	694	H16	850	H20	862	H19
		地域コミュニティの形成	単位: 団体数等	1	H15	3-4	H21	6	H20

  

**西荻窪地区 モニュメント設置 (平成20年度)**

**科学と自然の散歩みち整備 (平成16年度)**

  

**地域創造支援事業 (平成18年度)**

**アニメ資料館整備 (平成16年度)**

  

**特別区道1915・1908号線 カラー舗装 (平成19年度)**

**特別区道1243・2315号線 カラー舗装 (平成18年度)**

**特別区道2104-1号線 カラー舗装 (平成17年度)**

  

<p>まちの課題の変化</p>	<p>アニメ資料館の整備により、地域産業の発信源を整備することができた。また、当資料館が来訪者の受け皿となる集客施設(観光交流センター)の機能を十分に発揮したことにより、多くの利用者が訪れた。カラー舗装により、歩行者の通行空間を明示することができ、歩行者の安全性を確保できた。自転車の進入防止柵の設置などにより、歩行者が安心して歩ける散歩みちが整備された。また、車道と散歩みちの段差が解消され、利便性が向上した。散歩みちとしての快適な空間が整備された。材料支給により地域住民の花壇整備が実施され、散歩みちがより華やかになった。西北地区でまちづくり活動をテーマにしている団体が増加した。</p>
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<p>さらなるアニメ産業の振興の支援 &lt;アニメ資料館、モニュメントの点的な整備から面的な事業展開を図り、地元まちづくりとの連携により「アニメのまち」の永続的な展開を目指すとともに、アニメのまちを対外的に広くアピールしていく。&gt;                  西荻窪駅周辺における歩行者の安全確保 &lt;放置自転車や違法駐車車の抑制策は、各種計画に則り現在も進められており効果を上げている。よって、今後もそれらを継続していく。さらに、「放置自転車対策の充実」から「買い物環境の向上」という視点に変えて、安全な歩行者空間の確保を目指す。&gt;                  散歩みちの安全性・快適性の向上 &lt;安全性については、夜間でも安全に歩ける道とする、自転車の進入を防止する等の方策を検討する。また、快適性については、犬の糞をなくす、楽しみながら歩けるようにする等の方針とする。河川や道路でルートが分断されてしまっている箇所では交通安全性の確保に向けて改善を検討する。広範囲(西荻窪～上井草)に周遊できるようなネットワークの構築について検討する。樹木や施設の点検など、市民・行政の連携による維持管理体制の構築を目指す。&gt;                  アニメ産業振興のためのシステムづくり &lt;次代を担うクリエイターを育成するためのシステムづくりを行う。&gt;                  行政と地域住民の協働による維持・管理のルールづくり &lt;清掃や花壇づくり、イベントなどを協働で継続するとともに、既存の里親制度などを拡充して地域の方々々が協働できるルールづくりを行っていく。&gt;                  歩行者の快適性の向上 &lt;より歩きやすい環境を創出するために、歩行者空間の機能面についても一層の向上を図る。&gt;                  街なかの緑資源の保全 &lt;地域のランドマークとなっている緑や屋敷林など、主として民間所有の資源についても区の景観を形成する要素として位置づけ、保全に向けた取り組みを推進する。&gt;</p>